



前回の確認



第1回

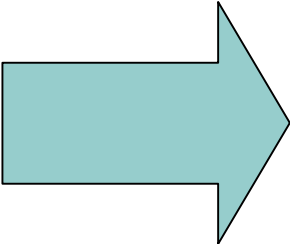
東部海浜開発事業検討会議

平成18年12月25日

検討会議の目的

東部海浜開発事業検討会議設置要綱より

第1条 東部海浜開発事業について、客観的かつ多角的な視点から精査するとともに公平公正な観点から情報を公開するため東部海浜開発事業検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

- 
- 会議の議論において**タブー無し**。
 - **建設的な意見**が望ましい。
 - 相手を**誹謗中傷**するような発言、**相手の発話を妨げるような事**はご法度。
 - 同事業において、委員も市民の皆様も勉強が必要。

東部海浜開発事業の経緯

市による検討

県による検討

国の参画

S49

コザ市、美里村合併↓沖縄市誕生

...

S60

沖縄市東部海浜地区振興開発懇話会

S62

「東部海浜地区埋立構想」策定

H1

「東部海浜地区開発計画調査委員会」設置

地元の動き

平成元年

計画の法線変更に関する要請書が提出

(泡瀬復興期成会)

平成2年

「人工島リゾート構想」が提案される

(泡瀬ビジュアル会)

H2

合意形成不十分↓港湾計画掲載見送り

H3

市が修正案を作成

H4

「沖縄市東部海浜開発地区自然環境保全検討委員会」設置

H5

「東部海浜開発に関する市民アンケート」
「沖縄市東部海浜開発計画基礎調査」を実施

H6

県が「中城湾港（泡瀬地区）港湾計画検討委員会」を設置

H7

中城湾港港湾計画の変更

国の参画

H10

国が新港地区多目的国際ターミナル事業の一環として
航路・泊地の浚渫土砂を泡瀬地区において有効活用す
ることを決定

...

H12

公有水面埋立承認

H14

海上工事着手

H17

海上部余水吐護岸・仮設橋梁完成

国：多目的国際ターミナル整備事業
航路・泊地浚渫

新港地区

市：東部海浜開発事業
土地利用

泡瀬通信施設

人、未来の世界を結ぶ海洋都市
マリンシティ泡瀬

第2区域 約91ha

第1区域
約96ha

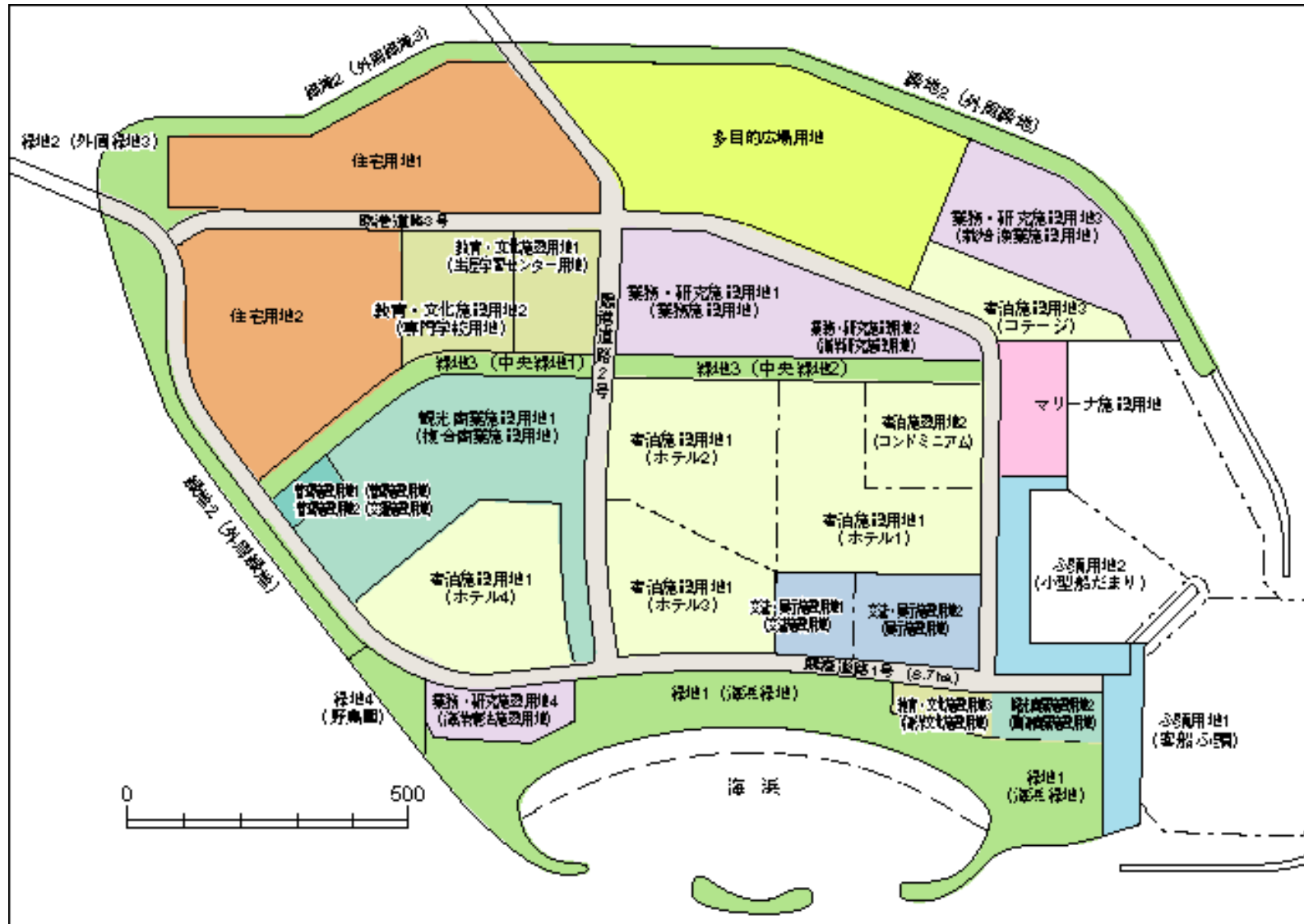
事業範囲への
浚渫土砂の有効活用

県：泡瀬地区埋立事業
港湾施設等整備

埋立総面積 約187ha



現計画の土地利用



会議運営について

- 現在の状況を知るために勉強が必要。
- 子孫にプラスかどうか、何が成功で何が成功でないのかを議論しなければいけない。
- 必要に応じてワーキンググループも設置。
- 市民にわかりやすい形での情報の発信。
- 会議の土曜日開催も考える。
- 傍聴者の意見についてルール化が必要。
- 反対の意見、推進の意見をヒヤリングする。

これから必要な資料

- 市民負担、市財政に与える影響について
- 環境について
- 市民の意見について
- 周辺地区の下水道等のインフラ整備について
- 現在の土地利用計画作成の根拠資料
- 同事業の市の位置付けや県の位置付け
- 既存市街地との連携
- 管理コストについて
- 事例
- 過去の報告書等の資料

数多くあるので

委員の疑問点を整理して議題案を作っていく。